

館報



8月号

やまがた

No. 760

令和元年
(2019年)



ナス農家

瀬川 朋樹さん(上大池)

今年から独立し農業を始めた朋樹さん。7年間農業法人で働いていた経験を活かし奮闘中だ。「日照不足により収穫開始時期が遅れたが、頑張った分だけ自分に返ってくる！」と、やりがいを感じている様子。収穫は10月ころまで続く。

(8月2日 圃場にて)

働姿

告知板

鉢盛中学校PTA

◆PTAアルミ缶回収のお知らせ◆

日時 9月7日(土) 午前7時~9時
回収物 アルミ缶のみ(本年度よりビール瓶・ビールケースは回収しません)
回収場所 役員と生徒が回収します。午前7時までに自宅の玄関先に出すか、役場東側駐車場までお持ちください。

やまのこ保育園

◆人形芝居燕屋さんがやってくる 開催のお知らせ◆

日時 9月16日(月) ・開場 午前10時 ・開演 午前10時30分~午前11時45分(休憩15分)
入場料 大人(小学生以上) 500円 幼児(3~5歳) 400円 乳児(0~2歳) 無料
問い合わせ やまのこ保育園 ☎98-5522

~村長表敬訪問~ 山っこだちの活躍を応援します!!

全国高等学校 定時制通信制体育大会 第21回バドミントン大会出場

神奈川県小田原市 小田原アリーナにて



上條楓果さん (小坂)



林龍斗さん (下竹田)

第62回 小学生・中学生全国 空手道選手権大会出場

三重県伊勢市 三重県営サンアリーナにて



竹野穂乃花さん (小坂)

第8回日本リトルシニア東日本選抜野球大会出場

茨城県内・各野球場にて



- 上段左から 笹野里玖さん(上竹田)(松本南シニア) 田中創太さん(小坂)(松本南シニア) 竹村結人さん(小坂)(松本南シニア)
下段左から 倉沢大輔さん(小坂)(松本南シニア) 百瀬将斗さん(下竹田)(安曇野南シニア) 中村歩夢さん(上大池)(安曇野南シニア) 籠田渉さん(小坂)(安曇野南シニア)

7月22日(月)から10日間、夏の交通安全やまびこ運動が行われました。最近、ブレーキとアクセルの踏み間違えによる事故をよく耳にするようになりまし...



いつも安全運転で

7月23日(火)、核廃絶と平和行政の拡充を求め、広島平和公園に燃え続ける「平和の灯」を手に、反核平和の火のリレーと自治体要請行動が行われました。



核なき世界を願い

山すそ 先日蝶ヶ岳に登った。初心者向けだけどちよつと大変なコースらしい。登山道はほとんど木立の中で、空気は澄んでひんやりとして、どんだん足が進んだ。夏は皆、山へ行けばいい。もはや信州も平地は避暑地ではないのだから、里を出て涼しい山へ登ればいい。ここに小さな家を建てて夏だけ住む。あ、それを別荘というのか。などと考えていると途中から階段が多くなってきた。疲れが溜まって20センチの段差を一步でも登るのが辛かった。最初に二足歩行を初めてしまったサルを恨みながら四つ足で這いあがり、やつとの思いで着いた頂上は、青空を背景に穂高連峰がくつきりと連なっていた。山での別荘生活はそれなりの生活方法を確立したら実現するとして、私はこの夏からプチ移住生活を始めた。それは夜、蒸し暑い二階の自室から一階の居間へ降りて寝ること。扇風機を回すだけで爽やかな空気を感ず、目をつむって山の風景を思い浮かべれば、心地よい眠りにつくことができる。

7月17日(水)・18日(木)、19日(金)、鉢盛中学校職場体験が行われました。山形保育園にも生徒が訪れ、保育士の仕事を体験しました。取材に訪れた日は、園庭にある畑で園児と一緒にキュウリやナスの収穫をしたり、遊具で遊ばせたりしていました。

「保育士は大変だと思っけど、とても楽しい。将来は保

中学校職場体験

め残念ながら途中で中止になってしまいました。大自然に接する良い経験になったと思います。

乗鞍登山

7月17日(水)・18日(木)、鉢盛中学校1年生が「乗鞍登山・上高地散策」に行ってきました。

1日目は大雪溪から登り始めた乗鞍登山。初めて山登りをした生徒も多かったのではないのでしょうか。2日目は上高地ウォークラリーでしたが、雷雨のため中止になりました。



「保育士になりたいです。」と、とても良い職場体験となったようです。



山っこ情報局

～夏休みお楽しみ会編～

～梅雨明けと共に山っこたちの夏休みが始まりました～

下竹田 7/27

ポップコーン、スイカ割りなど



下大池 7/27

ドッチビー、ビンゴ大会など



上竹田 7/27

スーパーボールすくい、ストラックアウト など



小坂 8/3

水ヨーヨーすくい、ストラックアウト など



上大池 8/3

ビンゴ大会、おぼけ大会 など



中大池 7/27

かき氷、吸盤釣りゲーム など



山形じゃんづら



令和元年

第35回

夏祭り



令和最初となる第35回夏祭り山形じゃんずら。皆さんにとってどんなお祭りだったでしょうか？

8月6日(火)に発生した台風10号の影響を心配する声があちこちで聞かれましたが、皆さんの願いが通じ、無事に開催することができました。多くの村民が一緒に楽しめる貴重なイベント。この先も続いて欲しいと願います。



いちいの里 健康遊具体験 レポート。パートⅡ

館報7月号でも紹介した、保健福祉センターいちいの里の敷地内にある健康遊具体験レポートのパートⅡになります。今回は残り3つの健康遊具を紹介します。

③ぶらぶらストレッチ

両手で横棒にぶらさがり全身を伸ばすようにストレッチしましょう。腕・肩の柔軟性アップ、背筋の凝り解消、脚の筋力アップに効果あり。



『ぶらぶらと体を揺らすと肩に効きますよ』『懸垂をしてみるのもいいですね』

④ステップ

手すりを両手で掴みながら足首やひざが大きく曲がるように意識してステップを渡りましょう。『深くひざを曲げるといいです』



『体を水平に保つのは大変で、腹筋と腿に効きます』
『体操選手の気分もちよつと味わえます』



⑤バランス円盤

揺れる円盤に乗ってバランスをとりましょう。効果は足首・ひざの柔軟性、足腰の筋力アップです。
『水平に保つのは、意外と大変』『体をひねってみるのもいいですよ』



2回に渡って紹介した健康遊具の周辺を回るウォーキングコース(約300m)も設定されています。
遊具をやりながらウォーキングするのもいいですね。



日頃の運動不足解消、運動能力低下予防などに是非健康遊具とウォーキングコースを活用してみてください。そして、ひと汗かいた後には、いちいの里のお風呂でリフレッシュしてみたいかがでしょうか。

活き生き塾活動記録

バスハイク

8月6日(火)

白馬村の北尾根高原とジャンプ競技場に行つて来ました。北尾根高原はリフト1本で標高1,200mまで登ることができ、雄大な北アルプスの山々を目前に望むことができます。当日は晴天に恵まれ、高原の爽やかな風を感じながらゆつたりとした時間を過ごすことができました。



→なんと足湯もあります!!

白馬ジャンプ競技場では、最高層の4階まで上がり、目下に広がる白馬村内とジャンプ台の迫力を満喫しました。みなさんも、夏の終わりに見どころたっぷりの白馬村へ出かけてみませんか？

白馬村が一望できます→



←絶好のロケーションでパシャリ♪



おめでた(子・親)

おくやみ

- 旗町 靖雄・77歳・下大池
- 平沢 韶人・86歳・中大池
- 奥 春雄・93歳・上竹田

境 健登・雄登・中大池



8月5日(月)から15日(木)まで清水高原別荘地で森の中のアートフェス「清水高原アートフェスティバル」が開催されました。今年は別荘地9軒でさまざまなアート作品や体験型アートなど多彩な催しがあり、会場を訪れた方は標高1,400mの爽やかな清水高原を散策しながら楽しむことができました。

8月6日(火)には、毎年恒例となったアートフェスとのコラボ、石本弾さんのシヨコラ・ヴィルトーゾ・ジャパンによる



るロビーコンサートがスカイランドきよみずで行われました。アルプホルンの音色から始まり、コントラバスでのエンターテイメント、サマーコース受講生の協奏曲、石本さんとのコントラバスデュオ、またお馴染みの「天国と地獄」や「ノクターン」などが演奏されました。フィナーレはホルン、バイオリン、合唱も加わり大盛況でした。多くの来場者が本物の管弦楽団の奏での演奏に酔いしれました。



次の環境整備では、ごみゼロを目指したいですね。



8月3日(土)、山形村スポーツ団体連絡協議会が、日ごろの施設利用に感謝して恒例の環境整備を行いました。17団体から23名が参加し、トレーニングセンター周辺のごみ拾いや、体育館の器具庫の清掃をしました。周辺には、タバコ、空き缶、お菓子の袋などが落ちていました。

感謝の清掃



みんなの人権 ⑧

山形村の「忘れない」～三間沢川「堂ヶ入沢殉難碑」に誓う～

まがたふるさとプロジェクトに参加しました。わが探検グループは、「山形村の水の歴史」水はありがたいもの、でも怖いもの」と言うテーマで、村の上水道のルート「丸山簡易水道跡」の見学や、堂ヶ入沢の水難事故現場の現地学習に出かけました。◇日常生活や農業に欠かせない水資源の確保は、水源の乏しいわが村にとって、死活問題でした。特に十分な飲料水の確保は、村の先人たちの悲願でした。「丸山簡易水道跡」は、唐沢川下流の村北部に多く点在した溜め池や共同井戸群と並んで、小坂や上天池の先人の多大な努力によって敷設された「村の上水道のルーツの1つ」として、貴重な歴史遺産でもあります。◇他方「水は、時として私たちの命を奪う怖いもの」。敗戦後間もない昭和20(1945)年10月9日、数日間降り続いた集中豪雨のため、三間沢川源流の堂ヶ入沢が決壊し、その濁流が上天池豆沢側に流れ出しました。その濁流に飲まれて、防災に当たっていた2名の上大池警防団員(現消防団員)が、尊い命を奪われてしまいました。その遭難現場に建つ「殉難碑」に、子どもたちと静かに手を合わせながら、豪雨災害の恐ろしさと思い馳せました。そして、この身近な悲劇を「忘れない」こと、災害防止対策の充実と並んで、いつ襲われるか分からない災害から身を守る術を常日頃から訓練しておくことの大切さを、6年生の子どもたちと共に、改めて痛感する貴重な機会となりました。◇途中、小坂公民館の駐車場から村全体を見渡しながら、明治26(1893)年3月の「小坂の大火」にも思い馳せました。この火事で、折からの強い南風に煽られて、小坂地区周辺まで11戸40棟が瞬く間に灰燼に帰してしまったと言われています。この火災の恐ろしさを「忘れない」と、同じ悲劇を繰り返さないことを誓い合うために、地域の私たちは、毎年「火事祭り」を催しているとのこと。その思いと英知を学び合って、学校へ帰ってきました。◇お互いの命を守り合う「安全で安心なふるさとづくり」は、「平和」と並んで、人権保障の基本中の基本でもあります。9月1日の村挙げての「総合防災訓練」も間近に迫ってきました。わが村の身近な災害史を「忘れない」訓練でもありたいものです。(令和元年8月 M・H記)



◇夏休み間近の7月中旬、山形小学校6年生の皆さんと一緒に、学校と地域とが連携して進めている「や

令和元年
8月14日(水)

ミラ・フード館

ご成人おめでとうございます!!

平成11年・12年生まれ
92名(男性47名・女性45名)
うち65名参加

成人式

